

「食べて応援しよう！」の取組に参加しましょう！

食べて応援しよう！とは？

東日本大震災による被災地やその周辺地域で生産・製造されている食品を積極的に利用することで、被災地の復旧・復興を応援しようとする取組を行う際の共通のキャッチフレーズです。

全国で支援の輪が広がっています



▲被災地産食品の販売フェア



▲被災地産食品を使用したメニューの提供

ロゴをPOPやチラシ等に自由に使用することができます



取組に参加するためには

以下のページにアクセスいただき、フォーマットをダウンロードの上、フォーマットに記載のメールアドレスまでご連絡ください。

【農林水産省HP】 <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/eat/index.html>

👉 お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部 食品流通課
TEL : 03-3502-8267



三陸・常磐もの ネットワーク

SANRIKU JOBAN MONO NETWORK

「魅力発見！三陸・常磐ものネットワーク」は、東日本大震災の被災地の本格的な復興に向けて、“三陸・常磐もの”の魅力を発信し、消費を拡大するための官民連携の枠組みです。

企業、政府関係機関、全国の自治体の積極的なご参加をお願いします。

「三陸・常磐もの」の魅力発信・消費拡大 を図るための 全国的なネットワークを構築し、 三陸・常磐地域の水産業等の復興・発展 につなげるプロジェクト

「魅力発見！三陸・常磐ものネットワーク」は、産業界、全国の自治体、政府関係機関から広く参加を募り、三陸・常磐地域の水産物等の“売り手”と“買い手”を繋げることで、「三陸・常磐もの」の魅力を発信し、消費拡大を推進するプロジェクトです。本ネットワークにご参加頂いた企業等の皆様に、社食や弁当、キッチンカーやマルシェを通じて「三陸・常磐もの」をお届けし、消費拡大に繋がります。また、「三陸・常磐フェア」などのイベントの企画や情報発信を行うことで、三陸・常磐地域の水産業等の本格的な復興と更なる発展を目指します。



魅力発見！三陸・常磐ものネットワーク 公式サイト

<https://sjm-network.jp/>



ご参加頂ける皆様は下記の登録フォーマットより、ご登録をお願いします。

<https://sjm-network.form.kintoneapp.com/public/kigyou-entry>





三陸・常磐もの
ネットワーク
SANRIKU JOBAN MONO NETWORK

企業の様々なシーンでご活用いただける 三陸・常磐地域の水産品を活用した お弁当やメニューをご提供

職員の皆様が食事をされる場面(社食や会議でのお弁当、敷地内のキッチンカー等)への「三陸・常磐もの」を活用したメニュー導入やマルシェ開催のお手伝いをいたします。ご参加いただける皆様は下記の登録フォーマットよりご登録ください。また、企画段階からのご相談も可能です。お気軽にお問合せください。



弁当

会議や職員様交流の場に「三陸常磐ものネットワーク弁当」を
会議でのお食事や職員交流の場でご活用いただける、三陸・常磐地域の
海鮮を使ったお弁当をご用意しました。
※メニューやご利用日、数量など事前にご相談を承ります。



キッチンカー

オフィス内で出来立てのお魚ランチを販売
会社の敷地等に三陸・常磐ものを使ったメニューのキッチンカーを派遣、出来立
てあつあつのお料理を提供します。通常ランチの他、社内イベントに合わせての
ご利用はいかがでしょう？※メニューや販売数は事前にご要望を承ります。



社食

職員様へ海鮮を使った健康メニューをご提供
給食会社様とも連携しながら、厨房施設や仕入れなどの条件に合わせた
三陸・常磐地域の水産品のご提案を行い、通常メニューから三陸・常磐
フェア開催まで、ご要望に沿ったメニュー導入をお手伝いします。



マルシェ

職員様対象の企業内「三陸・常磐ものマルシェ」開催をお手伝い
三陸・常磐地域の水産品を販売するマルシェ(フェア)開催をお手伝いし
ます。ご要望に応じて販売商品の選定や当日販売のアレンジまでご提案
可能ですので、お気軽にご相談ください。

ご利用の流れ

STEP 01

まずは**参加登録**を
お願いいたします。

STEP 02

登録完了後、三陸常磐もの
ネットワーク事務局より
ご連絡し、ご要望について
お伺いします。

STEP 03

各種専門事業者と
連携し、導入まで
お手伝いいたします



ご参加頂ける皆様は下記の登録フォーマットより、ご登録をお願いします。
<https://sjm-network.form.kintoneapp.com/public/kigyou-entry>



■ご参考 東日本大震災からの復興の状況等について

【東日本大震災からの復興の状況について】
<https://www.reconstruction.go.jp/> (復興庁ホームページ)

【東京電力福島第一原子力発電所の廃炉等の状況について】
https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/hairo_osensui/

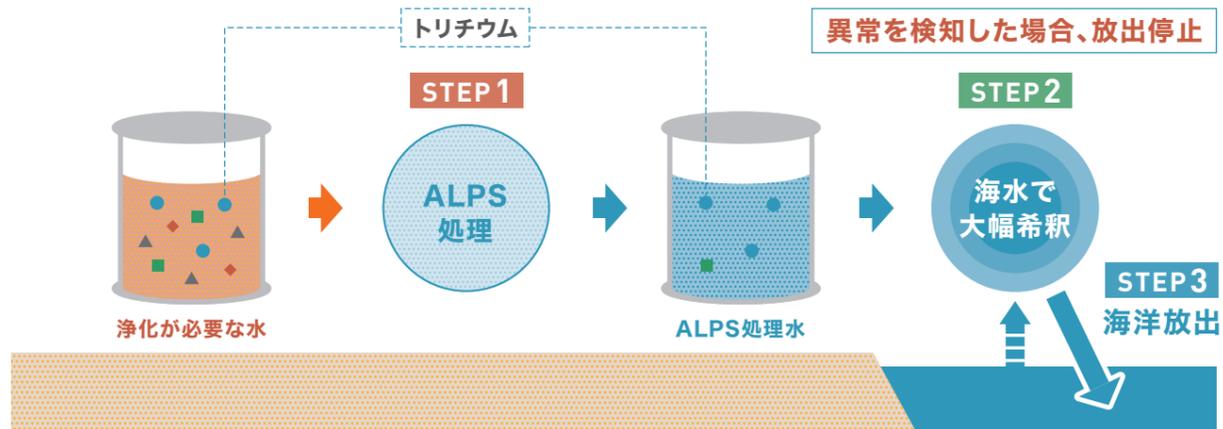
【東日本大震災からの
復興の状況について】



【東京電力福島第一原子力
発電所の廃炉等の状況について】



ALPS処理水の海洋放出のプロセス



※ 海洋放出前に、IAEAなどの第三者機関も測定し、客観性を確保。

ALPS処理水の分析結果はこちら→



東京電力

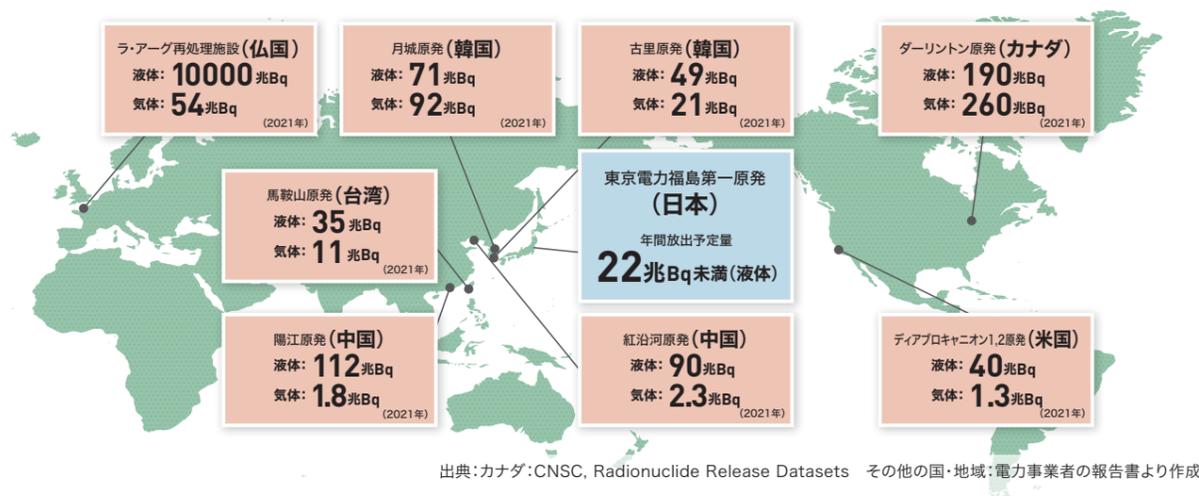
日本原子力研究開発機構 (JAEA)



ALPS処理水の海洋放出について

トリチウムの年間処分量 ～ 国内外の例 ～

トリチウムは、国内外の原発・再処理施設においても、各国・地域の法令を遵守した上で、液体廃棄物として海洋や河川等へ、また、換気等にもない大気中へ排出されています。



ALPS処理水について
詳しく知りたい方はこちらから
みんなで知ろう ALPS処理水



知るといふ復興支援があります
福島は今



ALPS処理水について

ALPS処理水とは、東京電力福島第一原子力発電所の建屋内にある放射性物質を含む水について、トリチウム以外の放射性物質を、安全基準を満たすまで浄化した水のことです。トリチウムについても安全基準を十分に満たすよう海水で大幅に薄めてから放出します。

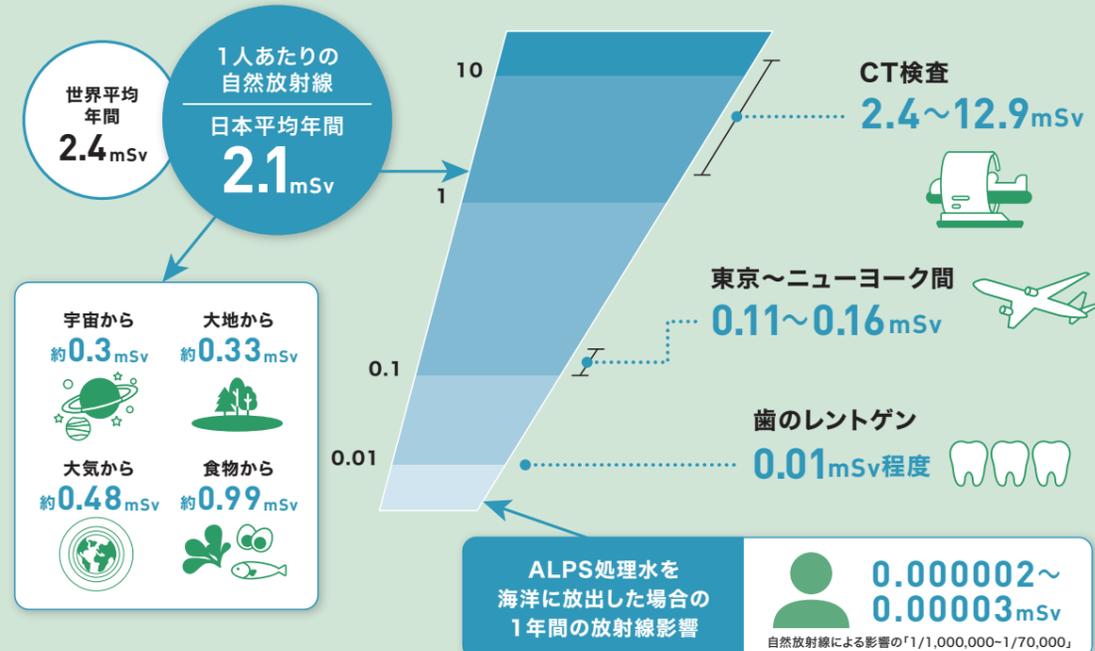


放射線による人体への影響について

国際的な基準・ガイドラインに沿って、海洋放出による人体への影響を評価しています。その影響は、日常受けている放射線（自然放射線）からの影響と比べ無視できるほどです。

1年間の放射線の影響

シーベルト (Sv) は、放射線によって人体がどれくらい影響を受けるかを表す単位で、数値が大きいほど「人体が受ける影響が大きい」ことを意味します。
1ミリシーベルト (mSv) = 1000分の1シーベルト (Sv)



出典: 東京電力「多核種除去設備等処理水 (ALPS処理水) の海洋放出に係る放射線環境影響評価結果 (建設段階)」(2023年5月時点)、一般社団法人日本原子力文化財団「原子力総合パンフレット2022年度版」をもとに作成

IAEAによる安全性の確認

令和5年7月に公表された国際原子力機関 (IAEA) の包括報告書では、**ALPS処理水の海洋放出について、「国際安全基準に合致」し、「人及び環境に対し、無視できるほどの放射線影響となる」と結論づけています。**

また、グロッシェーIAEA事務局長は、「処理水の最後の1滴が安全に放出し終わるまで IAEAは福島にとどまる」とコメントしています。



東京電力福島第一原子力発電所を視察するグロッシェーIAEA事務局長
出典: 東京電力ホールディングス



グロッシェーIAEA事務局長の表敬を受ける岸田総理
出典: 首相官邸ホームページ

モニタリング検査の実施

放出後、関係機関で、海水、水産物のモニタリングを行っており、これまで計画どおり安全に放出できていることが確認されています。

モニタリング検査の結果は速やかに公開しています。ぜひ一度ご覧ください。

海域でのモニタリング

対象放射性物質: セシウム、ストロンチウム、トリチウムなど



最新のモニタリング結果はこちら ↓

環境省

ALPS処理水に係る
海域モニタリング情報

